

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労継続支援A型事業所「なかま」奈井江
住 所	空知郡奈井江町字チャシュナイ1009番地13
電話番号	0125-74-6707

事業所番号	117100776
管理者名	熊田 朋美
対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		70	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		20	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上	○		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上ではない			

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		15	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている	○		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計（注1）	3		

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15	点
参加した職員が1人以上半数未満であった	○		
参加した職員が半数以上であった	○		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合			
③視察・実習の実施又は受け入れ			
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○		
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）	5		

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点		20点		25点		40点		20
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		15
支援力向上	0点		15点		25点		35点		15
地域連携活動	0点				10点				10

合計	
130	点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV）

(I) 労働時間

前年度（4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	2,046	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	331	人	利用者の1日の平均労働時間数	6	時間
-----------------------------	-------	----	-------------------	-----	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（令和4年10月～令和5年3月）

前々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	0	円	利用者に支払った資金総額	0	円	収支		円
-----------------	---	---	--------------	---	---	----	--	---

前年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-1,278,318	円	利用者に支払った資金総額	1,957,683	円	収支		円
-----------------	------------	---	--------------	-----------	---	----	--	---

(III) 多様な働き方

前年度（4年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動要に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検動要に関する制度を活用した人数 名

※取得を進めた免許等：

制度の活用内容：

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 名

◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日 年 月 日

勤務形態：

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（在宅勤務）： 時 分～ 時 分

職務内容：

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（短時間）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分

就業時間（遅出の場合）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 3 名

◎ 計画的付与制度を活用した人数 名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度

取得した期間： 令和5年2月6日～2月6日

取得日数・時間 1日

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 名

※取得した内容：

取得した期間： 月 日～ 月 日

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（4年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している

◎ 研修実施回数 外部 1回/内部 3回

対象職員数 3人

うち研修受講者数 6人

※研修名 虐待防止に関する研修

研修講師 野澤 和弘氏 など

実施日・受講者数 1月 25日 2人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 回

※研修、学会等名

実施日 月 日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している

◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名

実施日/参加者数 月 日 人

※他の事業所名

実施日/参加者数 月 日 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 回

※商談会等名

主催者名

日時 月 日

内容

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している

◎ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 29年 4月 1日

人事評価制度の対象職員数 3名

うち昇給・昇格を行った者 1名

当該人事評価制度の周知方法 人事考課規程とし就業規程に記載している。

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している

◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容




(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所「なかま」奈井江	事業所番号	117100776
住 所	空知郡奈井江町字チャシュナイ1009番地13	管理者名	熊田 朋美
電話番号	0125-74-6707	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：特別養護老人ホーム やすらぎの家 敷地周囲 介護老人保健施設 健寿苑 敷地周囲 実施日程：令和4年11月2日(水)～11月3日(木) 活動内容：地域ゴミ拾い 利用者数：3名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>事業所周圍でのゴミ拾い</p>  <p>健寿苑でのゴミ拾い</p>  <p>やすらぎの家でのゴミ拾い</p>
<p><目的></p> <p>地域貢献活動を通じて、障がいを持つ方々が社会に参加し、自立した生活を送ることができるよう支援することが目的.具体的には、ゴミ拾いを通じて、地域の美化に貢献し、周囲の人々に良い影響を与えることが期待されます。また、社会福祉事業利用者と一緒に取り組むことで、コミュニケーション能力や自己肯定感の向上、自立支援の促進にもつながると考えられる。</p>	
<p><成果></p> <p>利用者たちは自分たちの力で社会貢献できることを実感し、自信をつけることができた。このような活動は、利用者の自立支援や社会参加を促進するとともに、地域社会とのつながりを深めることにも繋がると考える。 課題としては今後さらに地域に拡大し、地域住民と共に活動することで、より大きな社会貢献や交流を実現できると考える</p>	

連携先の企業等の意見または評価

今後も地域との連携を強化し、より多くの人々に支持される活動にしていくことが重要です。課題としては、地域住民に参加してもらえるような取り組みを検討し、共に時間を過ごすことで地域との協力体制の強化していくことが重要になります。

連携先企業名	日本介護事業団 特別養護老人ホームやすらぎの家	担当者名	白崎 直良
--------	-------------------------	------	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労継続支援A型事業所「なかま」江別
住所	江別市大麻元町154-13
電話番号	011-398-8351

事業所番号	0111001616
管理者名	今泉 秀明
対象年度	令和4年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	
点	70
①80点 ②70点 ③65点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点	

(II) 生産活動	
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上	○
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上	
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上ではない	
点	25
①40点 ②25点 ③20点 ④5点	

(III) 多様な働き方（※）	
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
小計（注1）	2
点	15

(IV) 支援力向上（※）	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上半数未満であった	
参加した職員が半数以上であった	○
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回の場合	
2回以上の場合	
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている	
いずれの取組も行っている	○
④販路拡大の商談会等への参加 1回の場合	
2回以上の場合	
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
小計（注2）	4
点	15

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○
点	10
1事例以上ある場合：10点	

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点		20点		25点		40点		25
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		15
支援力向上	0点		15点		25点		35点		15
地域連携活動	0点				10点				10

合計	135	点	/ 200点
----	-----	---	--------

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績Ⅰ～Ⅳ)

(Ⅰ)労働時間

前年度(令和4年度)					
雇用契約を締結していた利用者における延人数	19,849	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,269	人
			利用者の1日の平均労働時間数	6.07	時間

(Ⅱ)生産活動

会計期間(4月～3月)					
前々年度(令和3年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	-107,025,030	円	利用者に支払った賃金総額	11,259,704	円
			収支	-94,281,000	円
前年度(令和4年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	20,132,807	円	利用者に支払った賃金総額	19,197,006	円
			収支	935,801	円

(Ⅲ)多様な働き方

前年度(令和3年度)における実績(全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に記載

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 名

取得を進めた免許等:

制度の活用内容:

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎うち1名は前年度末まで雇用継続している

※登用した日 年 月 日

就業時間: 時 分～時 分

職務内容

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数

※実施した期間: 月 日～月 日

就業時間(在宅勤務): 時 分～時 分

職務内容

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 名

※実施した期間: 月 日～月 日

就業時間(コアタイム): 時 分～時 分

職務内容

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数

※実施した期間: 月 日～月 日

就業時間(短時間): 時 分～時 分

職務内容

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数

※実施した期間: 月 日～月 日

就業時間(早出の場合): 時 分～時 分

就業時間(遅出の場合): 時 分～時 分

職務内容

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数3名

◎計画的付与制度を活用した人数0名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間: 4月1日～3月31日

取得日数・時間 12時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数

※取得した内容

取得した期間 月 日～月 日

就業時間: 時 分～時 分

職務内容:

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ)支援力向上

前年度(令和3年度)における実績(全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎研修実施回数 外部 回/ 内部2回

対象職員数 11人

うち研修受講者数 8人

※研修名 虐待防止に関する研修会

研修講師 大沼

実施日・受講者数 R4.11.15～R5.1.8 8人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数

※研修、学会等名

実施日 月 日

※学会誌等名

掲載日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習を実施している

◎他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名 就労継続支援なかま真栄

実施日/参加者数 7月11日1人

※他の事業所名 就労継続支援なかま奈井江・真栄

実施日/参加者数 10月25日 2人2月5日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 回

※商談会名

主催者名

日時 月 日

内容

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 年 月 日

うち昇給・昇格を行った者 名

当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」受講している

※配置期間 月 日～月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(※)実績のうち1事例を記載




各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

令和 5 年 4 月 1 日

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所「なかま」江別	事業所番号	0111001616
住所	江別市大麻元町 1 5 4 - 1 3	管理者名	今泉 秀明
電話番号	011-398-8351	対象年度	令和 4 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容> 活動</p> <p>場所：特別養護老人ホーム日本介護江別、介護老人保健施設日本介護江別、ゆうゆうじてき江別 実施日程：令和4年4月～令和5年3月 実施した活動の概要 新規の取り組みとして当事業所が所在するココルク江別で開催される地域住民との交流イベントにボランティアとしての参加や買い物支援としてサ高住でのパンの販売を昨年に引き続き実施した。</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>実社会の中での挨拶や身だしなみ等のマナーを実践し社会性が向上する。その中で地域の方々との交流を通じて、社会的役割を理解し社会参加を意識付ける。 また、地域住民の方に障がいのある方の社会参加により障がい者への理解を深めていただくことにより、地域共生社会の意識の醸成に役立つ。さらに、足腰が弱く、買い物が困難なサービス付き高齢者住宅の入居者に対し、パンの移動販売を行った。</p>	
<p><成果></p> <p>地域交流イベントの参加では、地域住民及び大学生との交流を通じて、障害があっても地域で普通に交流を行うことにより、自らが地域住民の一員としての自覚と責任感が高まり自信の向上につながっている。パンの販売では、高齢者から感謝の言葉をいただくことにより、やりがいが生まれるとともに自ら積極的に移動販売に向かう等高齢者との人間関係が構築され相互に良好な交流関係が生まれた。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した結果に対する意見又は評価】</p> <p>地域住民との交流や同年代の大学生等の交流を通じて、障がいがあっても、社会の一員として地域住民として果たす役割の理解の促進や交流を通じて「自分でもできる」ことの自信の獲得につながったと伺えた。また、障がいのある方の能力について、地域住民の方の理解が進んだ。さらに、昼食を自ら用意するサ高住の利用者にとって、冬期間は、転倒の恐れから買い物に困難である方も多く、高齢者に週 1 回のパンの移動販売を障害者自らが実施し、感謝の声とともに障害者の自信につながっていると考えられます。</p>		
<p>連携先企業名</p>	<p>特別養護老人ホーム日本介護江別 介護老人保健施設日本介護江別 ゆうゆうじてき江別</p>	<p>担当者名 小林 孝広</p>